

地域の教育力向上とまちづくりで 協働する地(知)の拠点整備



1. 地域の教育力向上

① 放課後学習支援

稚内市内の4つの小学校で継続的に実施されている放課後学習支援「グングン塾」や、利尻町で夏休みに行われている「小中合同学習会」に、本学の教職課程で学ぶ学生が指導助手として参加しています。学生にとっては、**教育実践経験を積む貴重な機会**となっています。

また猿払村との連携で、インターネットを用いた双方向の遠隔学習支援も行っています。

② ICT(情報通信技術)利用教育

本学の教員が研修などでの講師を務めるほか、今後「調べ学習」と連動させたICT利用のデザインを提案し、ICT利用教育を支援していく予定です。

中央商店街に設置する「まちなかメディアラボ」を活用し、放課後学習支援のほか**プログラミング講座**などによって、本学が子どもたちへの教育を直接行う計画もあります。



稚内北星学園大学の活動は、
文部科学省
「地(知)の拠点整備事業」
に選定されました。

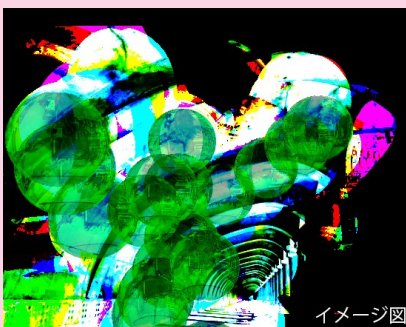
2. 観光まちづくり

① 観光情報発信

本学ではこれまで、豊富町観光協会と連携し、学生が授業の一環として豊富町の観光に関する**Webページ**の制作に協力し、さらに別の授業では温泉街の復興を図る人々を描いた**映像作品**「温泉街に、あかりをつけて。」を制作しました。

② 北防波堤ドームで プロジェクションマッピング

北海道遺産に登録されている歴史的建造物・北防波堤ドームに投影する映像作品を制作し、**新たな観光資源を提供する**予定です。



イメージ図

3. 中心市街地活性化

① 中央商店街にサテライト

稚内中央商店街の空き店舗を活用して設置する**まちなかメディアラボ**には、カメラやビデオの操作、ビジネスソフトやアート系ソフトのオペレーションを身につけた「**メディア表現指導員**」を配置し、「きれいなポスターを作りたい」「撮ったビデオを編集したい」などの専門的な知識を必要とするニーズに応えます。

この施設は、中心市街地活性化のために**学生が集う拠点**でもあります。中央地区で若い力が発揮できるよう環境整備を行います。

教員や学生による作品の展示・上映など**情報発信の拠点**とします。またそれだけでなく、メディア表現を通じて、子どもから高齢者までが気軽に交流できるスペースに育てていきたいと考えています。



キタカラでの学生作品展示風景

② 「まちゼミ」コーディネート

「得する街のゼミナール」略して「**まちゼミ**」という活動が全国の商店街に広がっています。

これは、例えば化粧品店が「初心者のためのメイク」、衣料品店が「着回し活用術」、銀行が「相続税の仕組み」、ペットショップが「その行動には訳がある!」、Barが「家でできるカクテル」等々、それぞれのお店がプロとしての知識やスキルを一定期間、無償で提供して多くの人に街に来ていただく試みです。

まちなかメディアラボを起点にして、立案から募集、広告、実施、報告会に至るプロジェクトの全体を、**学生がコーディネート**して行うことを計画しています。

■お問い合わせ■
稚内北星学園大学

フリーダイヤル 0120-311014

E-mail info@wakhok.ac.jp

URL <http://www.wakhok.ac.jp>

〒097-0013 稚内市若葉台1丁目2290-28